

新聞ボール段紙板

(昭和35年12月7日。第三種郵便物認可)

毎月7日、17日、27日発行

第二五七三号

(二〇一四年)

26年12月17日

日本紙工機械G

次世代グルア、来年発表

JD BOXRベース
最新技術搭載 総合的に性能向上

(株)日本紙工機械グループ(茨城県利根町、小崎享社長)は、日本国内向け次世代グルアを開発中で、来年の発表を予定している。ユニットの単独駆動等が特長の欧州向けグルア「JD BOXR」をベースに、国内で定評のある最新技術を多数盛り込み、品質向上やセット時間短縮など総合的なレベルアップを図る。まずは紙器・段ボール用1250サイズから着手する。

技術を兼ね備えた次世代型マシン。

JD BOXRは、従来のラインシャフトからサーボモーターによる各ユニットの「単独駆動」に変更した新機構を備える。

ユニット毎の制御で製函精度やスピード、安定性を向上、運転停止もスムーズでセット時間を大幅に削減する。ヨーロッパ基準の安全性や操作性、高品質などが特長である。

開発中の新機種は、昨年内覧会で発表した欧州向け新型グルア「TANABE JD BOXR 1700」(オランダJD社との共同開発)と、今年発表のリノベーショングルアに搭載した最新

小崎社長は「幅広いネットワークを持つ弊社だからできる開発である。また現在、顧客ニーズに一層沿うため技術面にも精通した技術営業スタッフを中心に展開しており、新機種にはお客様の声も反映していく」とした。

マシンの再生と強化を実現するリノベーショングルアでは、「マルチフィンガー」「新機構バックフィンガー」「新構想フレーム制御」など最新技術を紹介。新機種にも盛込んでゆく。